TRAFFIC ADVICE [HDS 山野哲也スポーツ&セーフティ・レディーススペシャル]

★交通安全活動をサポートする

スポーツドライビングを通してセーフティマインドを身につける

ホンダは、一般のドライバーを対象にしたホンダドライビング・スクール（HDS）を全国7ヵ所の交通教育センターで開催している。このコースの1つに「山野哲也スポーツ&セーフティ」があり、交通教育センターレインボー埼玉、交通教育センターレインボー熊本、鈴鹿サーキット交通教育センターで行われている。講師を務める山野哲也さんは、スーパーGT[※1]、全日本ジムカーナ[※2]選手権で活躍し、スーパーGT・GT300クラスでは3年連続でチャンピオンを獲得中の現役レーシングドライバー。同コースは、山野さんがレースで培ったドライビングテクニックとセーフティマインドを、実体験を通じて受講者に身につけてもらうことを目的としている。

昨年11月25日、交通教育センターレインボー埼玉で「山野哲也スポーツ&セーフティ・レディーススペシャル」が開催された。「もっと女性が参加しやすいスクールを提供したい」と、初めて女性限定で行われた。参加者は9名。

午前10時、教室でオリエンテーション。「いざという時に『止まれる』『曲がれる』技術や判断力の引き出しを体験で増やしてほしい」と山野さんが挨拶。

外に出て実技トレーニングに入る。最初は『ドライビングポジション』。「ハンドルやブレーキを操作するには、運転姿勢が大切」と山野さん。参加者が乗車する際、一人ひとり丁寧に指導する。また、レーシングカーの座席とチャイルドシートの実物を見せ、「2つは形が似ています。急ブレーキによって力が加わっても安全に身体を支える構造です」と説明する。

続いて『ブレーキング』。40km／hで走行し、目標地点で急ブレーキをかける。徐々に速度を70km／hまで上げて、万一の時に最短距離で停止するための技術を習得する。

『ハンドリング』では、普通の路面とぬれた路面が続くパイロンスラロームを走行。ハンドルをすばやく切り返す操作を身体で覚える。さらに、参加者一人ひとりが、山野さんの運転を助手席で体験し、スムーズな運転操作のイメージをつかんだ。

昼食をはさみ、午後は『スポーツドライビング』。さまざまなカーブが連続するコースで、ハンドリングや速度調節を試行錯誤しながら、技術の向上をめざす。練習を繰り返すうち、スムーズに走行できるようになり、全員が上達を実感できた。

最後に教室でまとめ。「いつも安全で確実に目的地へ向かう運転を心がけてください」と山野さんは締めくくった。

参加者の新井伊吹さんは、「初心者マークが取れたばかり。夫の勧めで参加しました。運転が不安でしたが、楽しく体験でき、自信につながりました」。小松智恵子さんは「急ブレーキの体験ができたので、いざという時に役に立つと思います」と感想を語った。

急ブレーキを体験し、『止まる』技術を習得

指導を担当する現役レーシングドライバーの山野哲也さん

レーシングカーの座席とチャイルドシートの安全性を説明

参加者一人ひとりが正しい運転姿勢を学んだ

パイロンスラローム走行でスムーズなハンドル操作を身につける

※1 スーパーGT＝市販車をレース用に改造した車両、グランドツーリングカー（GTカー）で争われるレース。車両の最大出力が500馬力のGT500クラス、300馬力のGT300の2クラスに分けられ、2クラスが同時に走り順位を争う。各チームマシン1台につき2名または3名のドライバーが運転し、決められた距離を走行する。

※2 全日本ジムカーナ選手権＝ジムカーナは舗装された路面に任意に設定されたコースを車両が1台ずつ走行し、タイムを競うモータースポーツ。車両の排気量や改造範囲などでクラス分けされている。国内ジムカーナ競技会の頂点に位置するシリーズが全日本ジムカーナ選手権。

NEWS REVIEW

●2006年ホンダ安全運転普及本部「年末ご挨拶会」

より安全で快適な商品の提供にハード・ソフトの両面で取り組む

12月1日、Honda青山ビルにて「2006年ホンダ安全運転普及本部年末ご挨拶会」が開催され、交通関係者約400名が参加した。

報告会では、福井威夫・本田技研工業（株）社長が「Hondaはクルマやバイクといった人の命を預かる製品を扱っていることを常に肝に銘じながら、安全運転普及本部設立以来、人に焦点をあてた安全運転普及活動を展開してきた。今後も、お客様により安全で快適な商品をご提供できるように、ハード・ソフトの両面より継続して取り組む。また、時代の変化やハードの進化に合わせて、新しい価値を提案したい」と挨拶した。

続いて、河野光彦・安全運転普及本部事務局長より2006年の安全運転普及活動内容報告及び、2007年の活動方針が説明された。

さらに、来賓を代表して矢代隆義・警察庁交通局長が挨拶。「この一年、安全運転普及本部がさまざまな安全運転普及に対する実践をされたことに対し、深く感謝しています」と述べた。

福井威夫・本田技研工業（株）社長

矢代隆義・警察庁交通局長

報告会の後に行われた懇談会では、吉見幹雄・本田技研工業（株）専務取締役 安全運転普及本部本部長、野村守・警察庁長官官房審議官の挨拶が行われ、交通関係者の交流の場となった。また、2006年はHondaの創業者である故本田宗一郎の生誕100年にあたり、会場にはHondaの原点を振り返るパネルが展示され、来場者の注目を集めた。

TOPICS

●交通教育センターレインボー福岡・リスクマネジメントセミナー

組織内の安全体制を構築することが企業に求められている

昨年12月4日、交通教育センターレインボー福岡が「リスクマネジメントセミナー」を開催した。7月に第1回目が行われ、第2回目となる今回は7社から交通安全活動を推進する責任者10名が参加した。

このセミナーの目的を交通教育センターレインボー福岡の宮下誠次長は次のように話す。「まず、企業で取り組むべきことについて知っていただくことが大切だと考えました。企業における交通事故は運転者より、実は組織内とそのシステムに問題があることがあります。それを解決するためには、どうすればいいかを知っていただき、企業における事故を効率的に削減することを目的にこのセミナーを開催しています」。

午前10時30分から「企業の交通安全対策を考える」をテーマに、宮下次長による座学が始まった。最初に「安全とは危険を的確に予測し、確実に防止するための努力を行うこと」と安全の考え方を再確認する。「事故が起きた場合、当事者である運転者の処罰だけで終わりにしたら不十分です。事故がなぜ起きたかに着目し、同じ事故が再発しないように組織として対策を講じないと事故は減っていきません」。さらに、「危機管理とは、事故が起きてしまった後の対応を指します。皆様がやるべきことは、事故を起こさないように予防するリスクマネジメントなのです」と補足。そして、交通事故を削減した様々な業種の企業の事例を紹介しながら、組織内の安全体制をいかに構築していけば良いかを解説した。

続いて、自己診断シートが参加者に配布される。このシートは16個の質問に対する回答と、算出した事故発生率[※]などから、自社の交通安全対策を客観的にセルフチェックできるようになっている。「事故発生率では5%以下をめざしてほしいと私どもは考えています。このような物差しを使うと、目標が設定しやすくなります」。

昼食をはさんで、午後1時から3時まで参加体験型の実技研修。組織内の安全体制がある程度出来上がった企業にとって効果的な参加型の教育をダイジェストで体験する。この日は濡れた路面でのABS（アンチロックブレーキシステム）体験などが行われた。

参加者からは、「交通事故を減らすことに対して、社員一同、一致協力することが大事で、そのように思える環境づくりも必要であることがわかった」「他社の実績、良い例等がたいへん参考になった」「実技研修では頭と身体が同時に反応しないことがわかった。この体験を社内で活かしたい」という声が聞かれた。

「交通教育センターには、様々な企業へのコンサルティングから得られた事故を減らすためのノウハウが蓄積されています。セミナーを通じて、そのノウハウをできるだけ多くの企業に提供していきたい」と、交通教育センターレインボー福岡では今後も継続的にセミナーを開催する考えだ。

座学では企業におけるリスクマネジメントのポイントや具体策について説明

自社の課題を明確にするために、自己診断シートで今までの交通安全対策が十分なものかをチェックする参加者

50km/hで走行し、正面の信号機の合図に合わせて停止する反応制動。人間の能力の限界を体験してもらうことで、速度の危険性についての気づきを与える

※事故発生率（%）＝年間事故発生件数（件）÷車両保有台数（台）×100

活動短信 ●交通教育センター 12月

アクティブセーフティトレーニングパークもてぎ
TEL 0285(64)0100
●企業／[二輪]＝大子自動車学校、オートテクニックジャパン、本田上海二輪研究所
[四輪]＝関電工千葉支店、東京電力栃木北支社・栃木南支社、東京電力茨城支店、キヤノン、ドコモ・モバイル多摩テクノセンター、サーキットサービスクリエイツ、視察体験会、日信工業、ピーエスジー、オートテクニックジャパン、ホンダアクセス、本田技術研究所四輪開発センター（栃木・和光）、本田技研工業
●官公庁／[四輪]＝福島地方検察庁、交通安全教育指導者研修
●学校／[四輪]＝日産栃木整備専門学校
●一般／[二輪]＝HMS初級・中級の各コース、トレッキングファースト・セカンド・スペシャルの各ステージ、親子でバイクを楽しむ会ファースト・セカンド・サード・スペシャルの各ステージ
[四輪]＝ホンダカーズ鹿沼、NSXオーナーズミーティング、HDS初級・中級の各コース

交通教育センターレインボー和光
TEL 048(461)1101
●企業／[二輪]＝綜合警備保障
[四輪]＝イシダはかり、ホンダカーズ、セーフティコーディネーター、本田技研工業
●一般／[二輪]＝HMS初級半日AM・PMの各コース
[四輪]＝高齢者講習、シルバードライバードックスクール、HDS初級半日・バック半日の各コース

交通教育センターレインボー埼玉
TEL 049(297)4111
●企業／[二輪]＝ライディングアドバイザー、本田技研工業アジア・大洋州本部
[三輪]＝本田技研工業汎用営業部、本田技術研究所二輪開発センター
[四輪]＝視察体験会、本田技研工業埼玉製作所
●一般／[二輪]＝HMS初級・中級・上級・バランスファースト・バランスセカンド・バランススペシャル・ナイスミドルの各コース、親子でバイクを楽しむ会ファースト・セカンド・サードの各ステージ
[四輪]＝HDS初級ファースト・セカンドの各ステップ、総合トレーニングコース

交通教育センターレインボー浜松
TEL 053(437)5551
●学校／[自転車]＝浜松北高等学校サイクルマナー教室
●一般／[二輪]＝高齢者講習、取得時講習、初心者講習、HMS初中級半日・中級半日・サンセットの各コース
[四輪]＝高齢者講習、シニア講習

交通教育センターレインボー浜名湖
TEL 053(527)1131
●企業／[二輪]＝中部電力細江サービスステーション、浜名湖自動車学校
[四輪]＝ドコモエンジニアリング東海、ユタカ技研工業、栗田工業、視察体験会
●官公庁／[四輪]＝富士市役所
●学校／[自転車]＝藤枝東高等学校自転車教室
●一般／[二輪]＝高齢者講習、HMS初中級・中上級・バランストライアル入門・オフロード入門・プライベートレッスンの各コース、親子でバイクを楽しむ会ファースト・セカンドの各ステージ
[四輪]＝高齢者講習、HDSスポーティ&セーフティ・プライベートレッスンの各コース

鈴鹿サーキット交通教育センター
TEL 059(378)0387
●企業／[四輪]＝アサヒ飲料、デンソー、棚橋研究所、中部電力、本田技研工業
●官公庁／[四輪]＝三四地区ドライビングコンテスト、土山町
[四輪]＝ホンダ学園
●学校／[二輪]＝稲生高等学校
●一般／[二輪]＝HMS初級・中級の各コース、親子でバイクを楽しむ会ファースト・セカンド・サードの各ステージ
[四輪]＝HDSファースト・セカンドの各コース

交通教育センターレインボー福岡
TEL 092(963)1421
●企業／[四輪]＝日総工業、セネック、九州電力、日立ビルシステム、ホンダ部品中国、リスクマネジメントセミナー
●一般／[二輪]＝HMSサンセットコース
[四輪]＝HDSオーダーメイドコース

交通教育センターレインボー熊本
TEL 096(293)1370
●企業／[四輪]＝九州電力東営業所、セコム九州本部、NTTネオメイトサービス九州、NECマイクロシステム、視察体験会、チーフセーフティコーディネーター
●官公庁／[四輪]＝天草市役所、菊池広域連合消防本部、熊本県警察本部交通機動隊、熊本県電動車いす指導者研修会、宮崎県日向市消防本部
[出張講演]＝熊本北地区安全運転管理者等講習会
●一般／[二輪]＝HMS初級・中級・上級・トライアル入門・オフロード入門の各コース、親子でバイクを楽しむ会ファースト・サードの各ステージ、ふれあいミーティング
[四輪]＝HDSスポーティ&セーフティ・山野哲也S&Sの各コース